

本年度上半期の財政状況を公表

支出済額は予算の33・7%

市では、皆さんにより一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、定期的に市の財政状況を公表しています。今回は、本年4月1日から9月30日までの半年間の予算執行と基金、地方債の状況をお知らせします。

問 財務課（内線352）

23億8千万円を増額補正

下の表1「補正予算の状況」のように一般会計は18億9957万円（繰越明許費の6億2867万円含む）、特別会計は3億3191万円、企業会計は1億4823万円の増額補正を行いました。総額では一般会計が283億7957万円、特別会計は合計で147億3330万円、企業会計は71億7443万円でした。

補正予算の主な内訳は、6月には老朽化した中野方保育園の新園舎建設のための設計費や学校における食育推進の経費など2505万円を計上しました。9月には神ノ木橋

改良工事や御所の前牧田線整備事業の増額、農業用ため池の耐震調査、明智町吉良見地区の防火水槽設置工事費、市北部の公共交通基本計画経費、病院施設などの整備基金への積み立てなど12億4585万円を計上しました。2027年に開業予定のりニア中央新幹線を核とした新しいまちづくりを描くための市民委員会の経費も盛り込まれました。

表1 補正予算の状況

内 訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	264億8,000万円	18億9,957万円	283億7,957万円
特別会計	144億0,139万円	3億3,191万円	147億3,330万円
企業会計	70億2,620万円	1億4,823万円	71億7,443万円
合計	479億0,759万円	23億7,971万円	502億8,730万円

※補正額には昨年度からの繰越明許費を含む。企業会計の予算額は歳出予算

公共下水道事業特別会計で、岩村浄化センターの整備工事

費などの増額補正を行いました。

一般会計50・7%が収入済

一般会計では、収入率50・7割、支出率31・8割で、特別会計合計は、収入率30・9割、支出率34・0割。企業会計は、収入率45・2割、支出率40・6割となっています。

一般会計の支出は、建設事業の工事費や委託料が、事業完了してから支出されるので、支出率は低くなっています。収入では、国や県の補助金、市債が事業完了後の収入、一般会計の繰入金が年度末の収入のため、収入率は低くなっています。支出は建設事業費などがあり、事業完了後の支出となるため、上半期の支出率は低くなっています。

企業会計には、水道事業、病院事業、介護老人保健施設事業、診療所を運営する国民健康保険診療所事業、介護老人福祉施設事業の五つがあります。水道施設の建設事業費や、病院の施設改修事業費、医療機器などの建設事業費などがあり、一般会計と同じように支出率は低くなっています。

市税の収入率は60・4%

一般会計の収入の状況を表2に、支出の状況を表3にまとめました。

収入については、市税収入が、予算額に対して60・4割納入されています。

自動車取得税交付金や株式等譲渡所得割交付金、市債は、年度末に納入される予定で、国庫支出金や県支出金は、事業の完了後に納入される予定のため、非常に低い収入率となっています。

支出については、定期的に出る人件費や公債費（借金を返済するお金）は、支出率も順調ですが、衛生費、農林水産業費、土木費は、建設事業などを多く行って、事業を完了してからの支出が多くなるため、支出率は低くなっています。

また民生費は、国民健康保険や介護保険事業などの繰入金が多めに支払われることから、支出率が低くなっています。一般会計は、市全体の歳入・歳出の状況と同様に、収入率、支出率とも例年通りとなっています。

表2 一般会計収入の状況

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	68億1,407	41億1,661	60.4%
地方譲与税	3億8,660	9,200	23.8%
利子割交付金	2,130	609	28.6%
配当割交付金	980	403	41.1%
株式等譲渡所得割交付金	240	0	0.0%
地方消費税交付金	5億3,870	2億8,705	53.3%
ゴルフ場利用税交付金	1億1,690	4,704	40.2%
自動車取得税交付金	1億0,920	3,065	28.1%
地方特例交付金	3,670	2,677	72.9%
地方交付税	92億3,281	68億4,309	74.1%
交通安全対策特別交付金	630	335	53.2%
分担金及び負担金	3億4,171	1億1,651	34.1%
使用料及び手数料	4億2,104	1億7,025	40.4%
国庫支出金	22億2,788	6億2,530	28.1%
県支出金	18億2,878	2億2,462	12.3%
財産収入	9,232	3,749	40.6%
寄付金	10	167	1670.1%
繰入金	2億7,017	0	0.0%
繰越金	15億0,585	15億0,585	100.0%
諸収入	6億4,184	2億3,862	37.2%
市債	37億7,510	0	0%
合計	283億7,957	143億7,699	50.7%

表3 一般会計支出の状況

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億7,420	1億5,534	56.7%
総務費	41億3,960	12億4,488	30.1%
民生費	64億7,002	22億6,313	35.0%
衛生費	41億6,256	8億0,419	19.3%
労働費	4,850	4,840	99.8%
農林水産業費	13億4,469	2億3,827	17.7%
商工費	6億1,139	2億8,254	46.2%
土木費	28億7,068	5億0,500	17.6%
消防費	9億4,770	4億1,841	44.2%
教育費	30億7,611	12億1,107	39.4%
公債費	42億0,100	17億1,291	40.8%
予備費	3,000	0	0.0%
災害復旧費	2億0,312	1億2,777	62.9%
合計	283億7,957	90億1,191	31.8%

市の借金は541億円

市債の状況を表4に、基金の状況を表5にまとめました。

本紙11月1日号で平成23年度末の市債の状況をお知らせしましたが、本年度上半期では、23億1383万円を返済し、9月30日現在の借入残高は、一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて540億8420万円、市民1人当たりでは99万4542円となっています。

一方、9月30日現在の基金は、28億0454万円の財政調整基金、28億3669万円の地域振興基金など一般会計分に積み立てる基金で12億7390万円でした。

他に運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金などがあり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は12億7729万円でした。

特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、150億6249万円で、市民1人当たり27万6981円となります。

表4 市債の状況

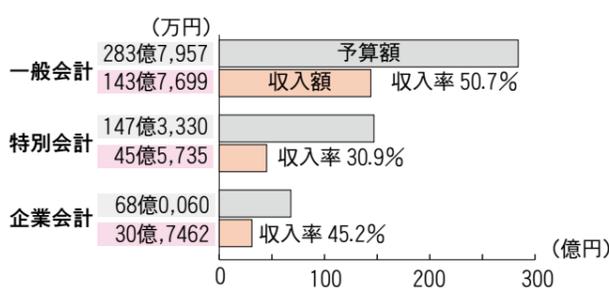
区分	現在高	市民一人当たり
一般会計	354億9,971万円	65万2,796円
特別会計	150億0,129万円	27万5,855円
企業会計	35億8,320万円	6万5,891円
市債総計	540億8,420万円	99万4,542円

表5 基金の状況

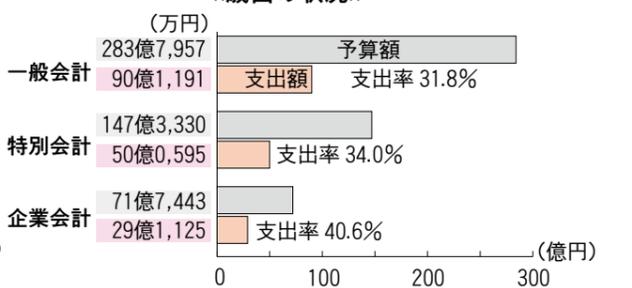
区分	現在高	市民一人当たり
積み立てる基金	135億0,578万円	24万8,355円
一般会計の基金	126億7,390万円	23万3,058円
特別会計の基金	8億3,188万円	1万5,297円
運用する基金	12億7,729万円	2万3,488円
企業会計の基金	2億7,942万円	5,138円
基金総計	150億6,249万円	27万6,981円

※市民一人当たりの人口は平成24年9月末現在の人口（54,381人）で計算

《歳入の状況》



《歳出の状況》



※端数処理により合計が合わない場合があります。

問：問い合わせ 申：申し込み